

まなびや

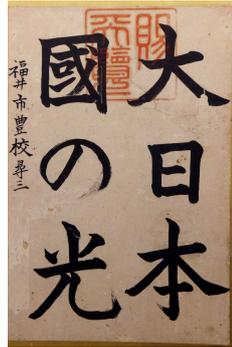
各時代を現す、様々な貴重資料

各展示室の展示物から

【展示室A】教育ふくいの歴史、【展示室B】福井ゆかりの教育者、【展示室C】教科書の歴史、【展示室D】なつかしの学び舎、【展示室E】福井の教育について、学校や個人等から提供を受けた貴重な資料が展示されています。

天覧作品

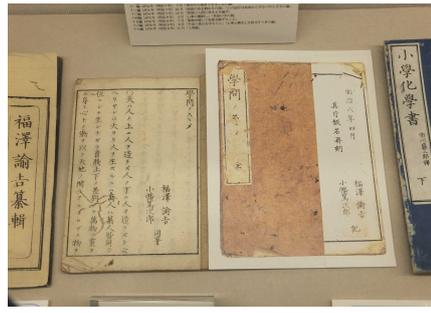
昭和八年、昭和天皇が来県の際に児童の習字や絵画をご覧になりました。作品には「賜天覧」の朱印が押されています。【展示室A】



自由採択時代の教科書

明治五年〜明治十九年

明治五年、学制が公布された当時の教科書は文明開化の風潮が反映され、欧米の教科書を翻訳・編集した物が多く、文部省や東京師範学校が出版にあたりました。また、民間で出版した書物も自由に教科書として用いることができ、福沢諭吉はの「西洋事情」や「學問ノススメ」なども用いられていました。



学問ノススメ(初編明治6年4月三刻)

学問ノススメ

初編明治5年2月出版(洋紙両面活版刷) 平仮名交り
初編明治5年6月再刻(和紙木版小型本) 平仮名交り
【本書】初編明治6年4月三刻(和紙木版半紙四折版) 片仮名交り文
漢字カナカナ交り文で、新たに彫った木版。明治5年の学制で、小学校がカタカナから教えたためか、木版にはカタカナが彫りやすかったためか、職人を大勢抱えていたためかは不明。
巻末に「福沢諭吉 小幡篤次郎記」とあり、「慶應義塾蔵版之印」が押捺
初編のみ「小幡篤次郎」の名前が見られます。残り16編は「福沢諭吉」著となっています。
後半には、「学問ノススメ初編」と記し、二編以降の発刊が決定。

- 初編 1872年(明治5年) 2月 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」
- 二編 1873年(明治6年) 11月 「人は同等なること」
- 三編 1873年(明治6年) 12月 「国は同等なること」「一身独立して一国独立すること」
- 四編 1874年(明治7年) 1月 「学者の職分を論ず」
- 五編 1874年(明治7年) 1月 「明治七年一月一日の詞」
- 六編 1874年(明治7年) 2月 「国法の貴きを論ず」
- 七編 1874年(明治7年) 3月 「国民の職分を論ず」
- 八編 1874年(明治7年) 4月 「わが心をもって他人の身を制すべからず」
- 九編 1874年(明治7年) 5月 「学問の趣旨を二様に記して中津の旧友に贈る文」
- 十編 1874年(明治7年) 6月 「前編の続き、中津の旧友に贈る」
- 十一編 1874年(明治7年) 7月 「身分から偽君子を生じるの論」
- 十二編 1874年(明治7年) 12月 「演説の法を勧めるの説」「人の品行は高尚ならざるべからざるの論」
- 十三編 1874年(明治7年) 12月 「怨望の人間に害あるを論ず」
- 十四編 1875年(明治8年) 3月 「心事の権御し」「世話の字の義」
- 十五編 1876年(明治9年) 7月 「事物を疑いて取捨を断ずること」
- 十六編 1876年(明治9年) 8月 「手近く独立を守ること」「心事と働きとを相当すべきの論」
- 十七編 1876年(明治9年) 11月 「人望論」



M7「小学読本第一」翻訳本

【展示室C】

なつかしの学び舎

▼昭和30年代の教室再現を中心に、当時の写真や学校生活に関する思い出の品々を紹介しています。
『教室ジオラマ』は、鯖江市在住の人形作家・加藤かずお氏の作品です。授業中と自習中の教室を、教科書や背面黒板の掲示物まで細かく再現しています。【展示室D】



校庭での子どもたちの様子



開放的な？自習の時間



夏休み前の授業中の様子